

CAR No.34,35,36,37

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2013/ 4/20

Albirex-RT

スーパーFJ 東北シリーズ 第 1 戦

4月20日(土) 予選・決勝

スポーツランド菅生 1 LAP=3.704km 出走：7台

天候：曇 コース：ドライ 気温：11℃

ドライバー：栗村 和 (アルビ RT ビヨンド ED アソー #35)

湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #36)

佐藤 祐希 (アルビメークウィナー-GIA #37)

予選結果：湊選手 2位 佐藤選手 3位 栗村選手 5位

決勝結果：湊選手 1位 佐藤選手 2位 栗村選手 6位完走扱い

湊選手が自身初優勝！
佐藤選手が2位チェッカーで
アルビレックスRTが1-2フィニッシュ！！



もてぎシリーズ・富士シリーズに続く東北シリーズ開幕戦！！

湊選手が富士シリーズの太田選手に続く優勝達成！！

佐藤選手とワンツーフィニッシュ！！

■4月20日（土） 予選

小村方選手は前日の練習走行でクラッシュを喫してしまい、フロント周りとりやにダメージを負ってしまう。パーツがないために修復ができず、予選・決勝の出場は断念せざるを得なかった。

9時45分予選開始。湊選手2番手、続いて佐藤選手、栗村選手の順にコースイン。

湊選手は徐々にペースを上げていくと、ファイナルラップで自己ベストを更新、従来のコースレコードを0.225秒上回る1分28秒662をマークする。しかし、トップがそれよりも0.3秒速いタイムを出していたため、予選は2位となった。

佐藤選手は7周目にベストラップを記録したものの、残りの2アタックでそのタイムを上回ることができずに3番手。栗村選手はラップを重ねるごとにタイムを上げていき、5番グリッドを獲得した。

■4月20日（土） 決勝

15時53分決勝レーススタート。

湊選手はトップの車両に少し離されてしまうが、オープニングラップ最終コーナー立ち上がりで差を詰めてホームストレートへ。しかし再びトップと離されてしまい、その後約3周に渡ってその差を詰める事ができない。

しかし、ここでトップの車両にジャンプスタートの判定が下され、1位の車両にはドライブスルーペナルティが科されることに。これにより、湊選手、佐藤選手はそれぞれ1つずつ順位を上げることに成功。

その後は盤石のレース運びで湊選手が自身初優勝。佐藤選手もそのまま2位に入り、アルビレックスレーシングチームがワンツーフィニッシュを飾った。

5番手スタートの栗村選手だったが、予選1位車両のペナルティにより4番手に浮上すると、3番手と最大約1.5秒差あった差をラップを重ねる度に少しずつ詰めていく。

11周目、前車との差が最も詰まる、コース後半SPインコーナーでアウト側から勝負を仕掛け、追い抜いたかと思われたがテールスライドを誘発してしまいコースオフ。そのままタイヤバリアに突っ込んでしまう。パスしていればアルビレックスRTで表彰台を独占する快挙となるところだったが、クラッシュのダメージによりコース復帰は不可能に。幸い本人にダメージは無く、規定周回数を消化していたため6位完走扱いとなった。

○小村方選手コメント

走るたびに手ごたえを感じていたのですが、金曜日のクラッシュはとても残念でした。ウィークを通じていい流れでしたし、今回チームが1位、2位を獲得したので、この流れに乗っていきたいです。

○栞村選手コメント

レース後半からいいペースで走る事ができ、表彰台を狙って攻めていきましたが、それが裏目に出てしまいました。うまくパスできたら表彰台に立てたのですが、残念です。今回の経験を生かして、次は表彰台に立ちたいと思います。

○佐藤選手コメント

今まで速さは見せられていたので、今回は速さだけでなく結果を残すことができうれしいです。毎回表彰台に立てるように、これからも練習を重ねていきたいです。

○湊選手コメント

優勝という結果が出せて本当に嬉しいです。それも、2位に佐藤選手が入ったの表彰台は最高でした。アルビレックスレーシングチームが表彰台を独占できた可能性もあったので、またそれを狙えるように、僕自身もまたこの場所に立てるように、もっと技術を磨いていきたいと思います。

○中村監督コメント

東北シリーズ第1戦を迎えました。全国から見ればホームゲームとなるので、必ず勝つ事を目的に宮城入りしました。

4選手とも前日の練習は好調で、特に湊選手・栞村選手はよい状況でした。

予選に関し、湊選手はうまく進めてコースレコードを記録しましたが、コンマ3秒差で予選2番手となりました。佐藤選手も運転、マシンセッティングとも日々成長し予選に挑みましたが、惜しくも3番手となりました。栞村選手は自己ベストを更新する勢いで調整をかけていました。小村方選手は走るほどタイムが伸び、予選・決勝に期待できましたが惜しくも金曜日にクラッシュしてしまい、修復する事ができませんでした。

決勝ではトップがジャンプスタートしたものの、その要因として終日湊選手がプレッシャーをかけていた結果であり、湊選手が精神的なミスを誘った形になりました。そのままレースは展開し見事湊選手が優勝、佐藤選手が2位獲得。栞村選手は3位争いに敗れてコースオフしてしまいました。しかし、攻めた結果ですのでチーム・本人とも仕方がない結果だと認識しております。

富士、東北と立て続けに優勝できておりますので、この波に乗ってシリーズを取りたいと思います。今後とも応援よろしくお願ひします。







P PLUS  Nankai Plan Co.,Ltd.
 鈴木会計  埼玉・山口 <http://www.tcnf.com/sds>
MID Japan Inc.  Mitsui Impres Development

    
Moty's  **新潟日報**  **MAKE WINNER**  **SPN** SPEED PARK NIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ